

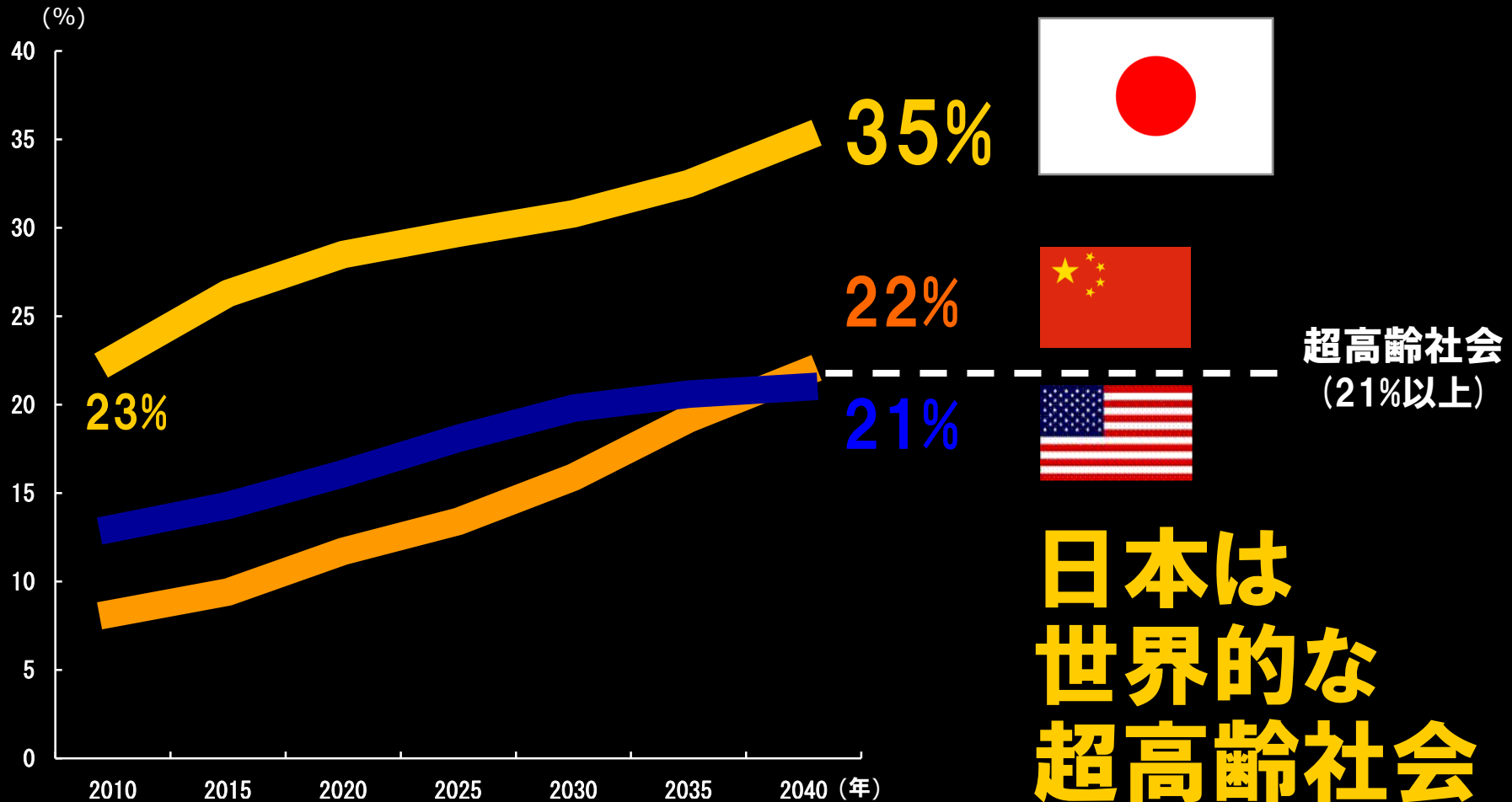
医療・ヘルスケア取組のご紹介

2014年1月31日

ソフトバンクテレコム株式会社

超高齢時代が到来

各国の人口に占める65才以上の割合予測



出所: Population Division of the Department of Economic and Social Affairs of the United Nations のデータを基に当社作成
高齢社会、高齢化社会の定義は、「平成18年版 高齢社会白書」の定義に基づく

超高齢時代の日本における問題



- 労働力人口の低下
- 医療費の負担増
- 老後の不安

日本は活力を失いつつある

超高齢時代



日本に危機が迫っている

医療・介護コミュニケーション連携の提供

医療、介護におけるコミュニケーション連携、情報交換を実現するためのSNS「メディカルケアステーション」を2013年7月より提供開始しました。

MedicalCareStation

- 完全非公開型SNSモデルを採用。**無料**。招待制。
- 患者グループ単位での管理。グループの自動作成。
- 医療者間でのコミュニケーション、情報共有を実現。
- 患者や家族の参加も可能。
- 招待により、外部の医療者との情報共有が可能。
- 医療ならではのセキュリティとアクセスコントロール、招待・承認フロー。
- 医療介護システムとAPIでシステム連携し、拡張可能(**MCS-API**の提供)



マルチデバイス対応:スマートフォン、iPadで多職種連携



- 簡単操作
- 院内外で使える
- 各種スマホ、各種タブレット、PC(Chromeのみ)に対応

所属を越えた多職種連携コミュニケーションを実現

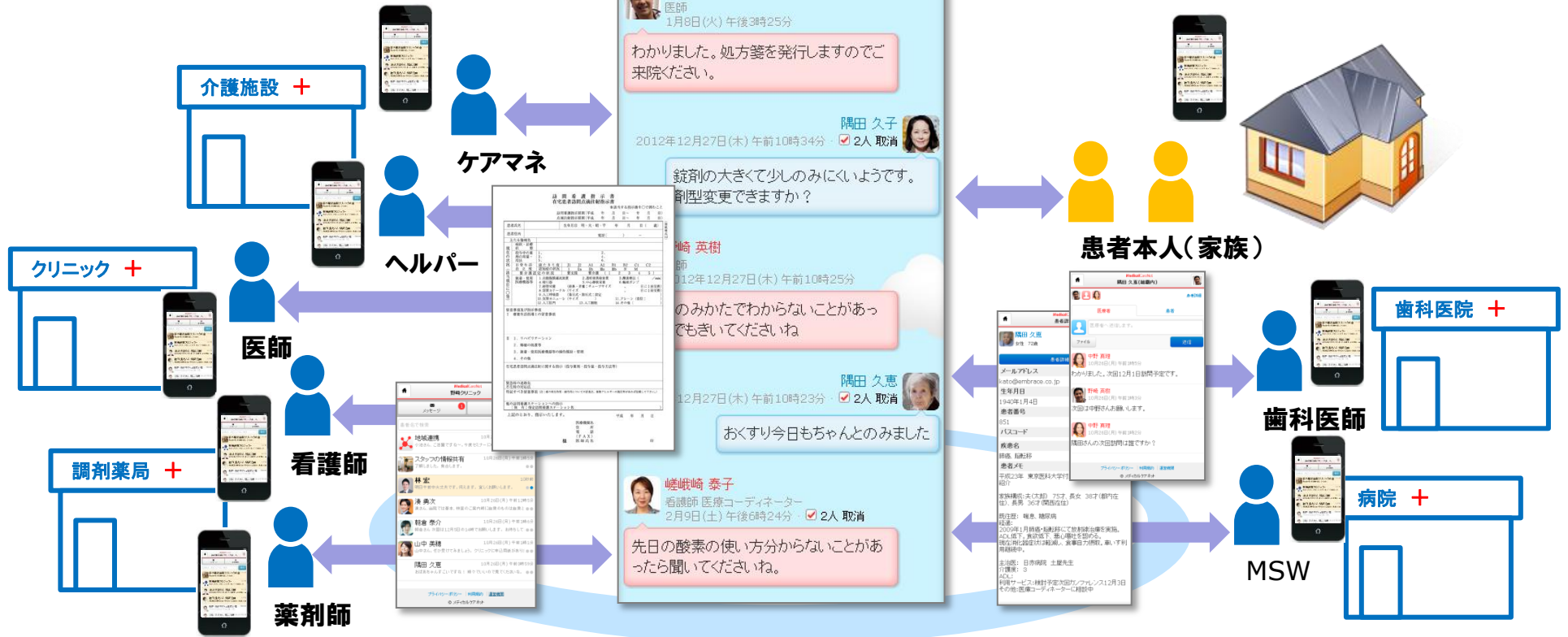
立場を越えた**多職種間**で患者についての**情報をSNSで共有**。

MedicalCareStation

医療・介護に特化した情報共有権限管理を実装。

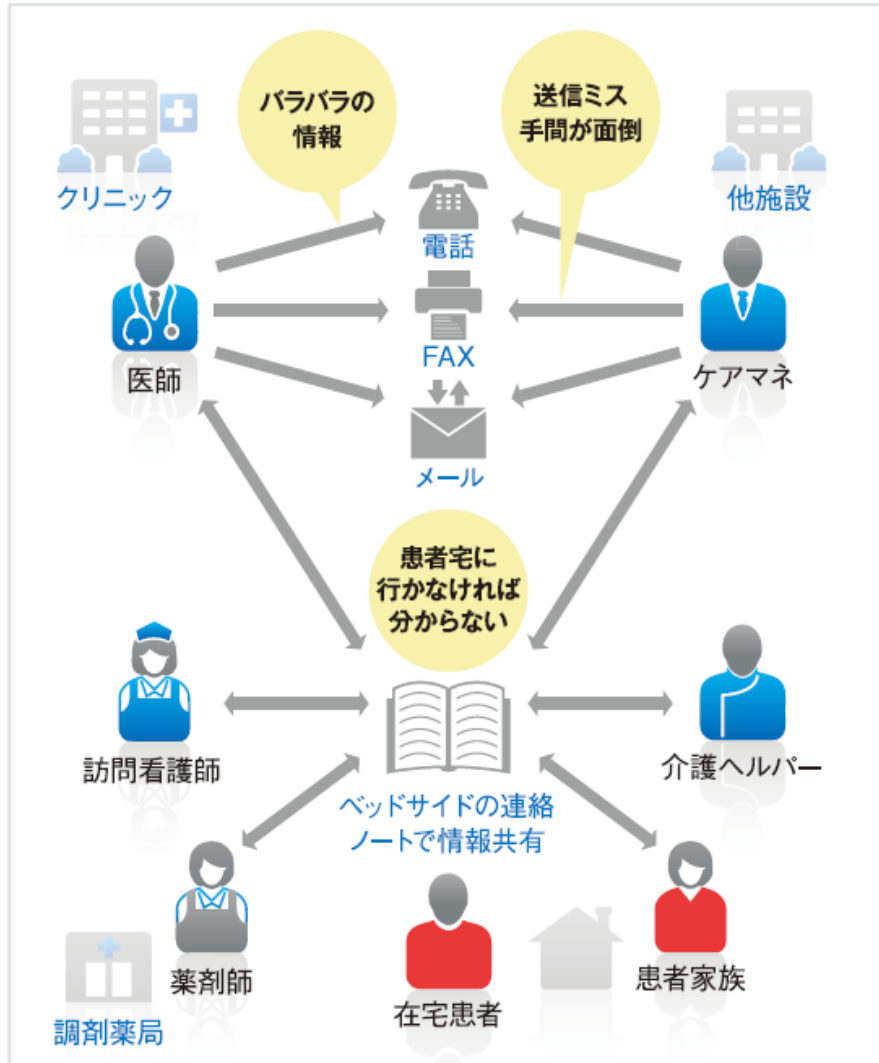
患者毎に連携する「**メンバー**」を招待。自由に設定。

患者や家族の参加も可能。



メディカルケアステーションの導入効果

Before

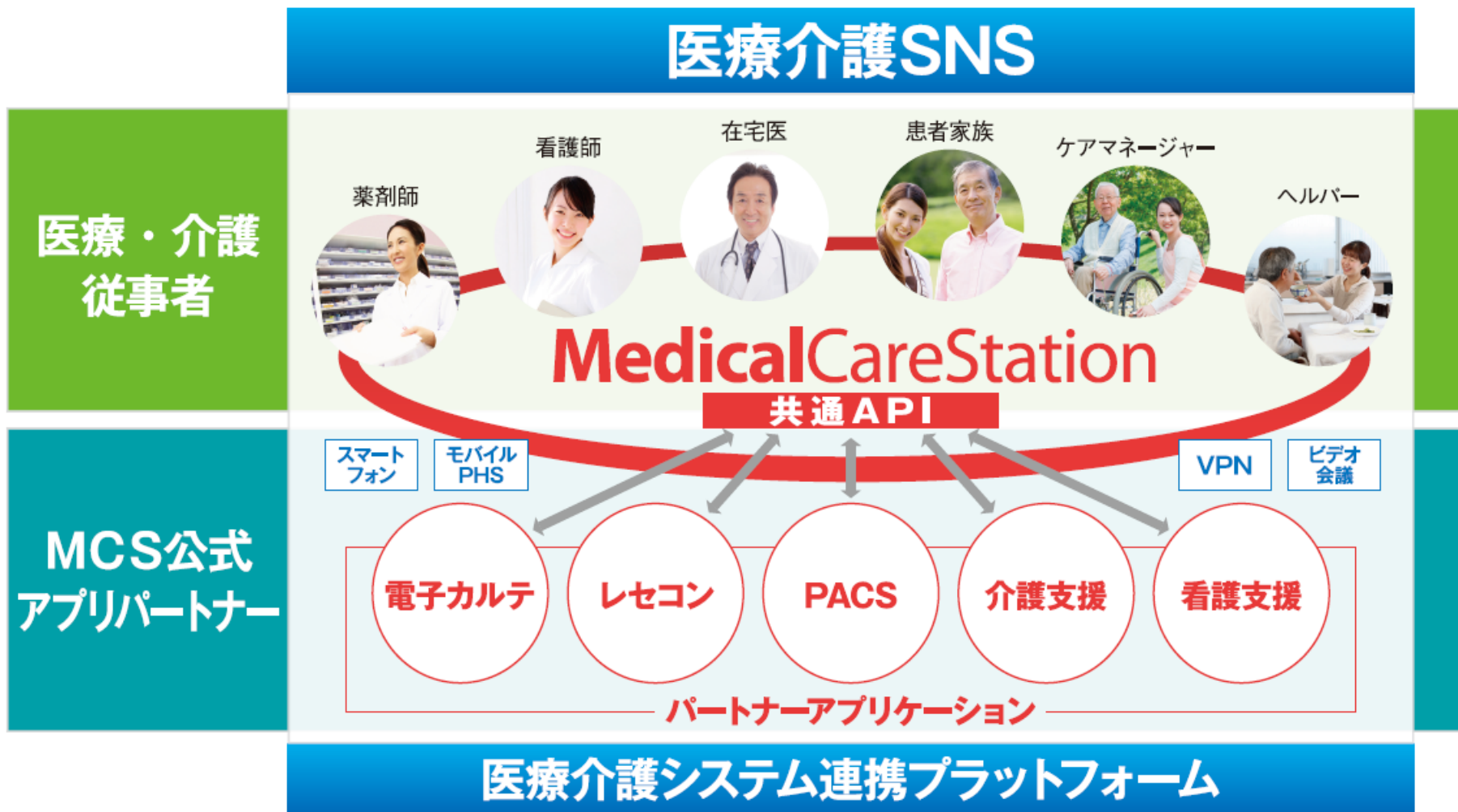


After



「MCS公式アプリ」でさまざまな機能を拡張可能

医療介護SNSを中核に医療・介護従事者とIT サービスをつなぐ共通プラットフォームを確立し、人と情報、データがつながるコミュニケーションインフラを実現します。



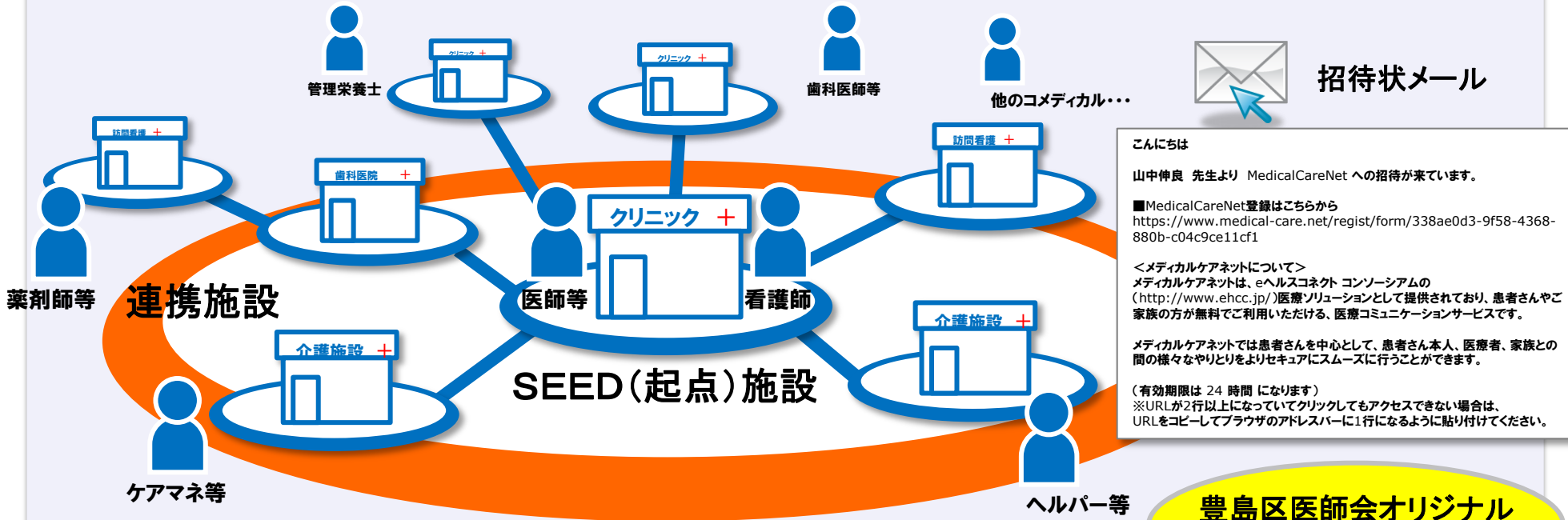
事例: 豊島区医師会でのメディカルケアステーション利用

豊島区医師会では、在宅難病訪問支援事業において「コミュニケーション」で連携する小規模な連携ネットワークを構築。小規模連携の積み重ねが大規模連携ネットワークとして成長中。豊島区オリジナル「空床アプリ」の開発も正式決定し病診連携もスタート予定。

豊島区医師会「在宅ICT会議」で
連絡網SNSとしても利用中。

在宅のクリニックから起点となっ
て招待をスタート。

地域の介護施設や調剤薬局も
どんどん招待。



豊島区医師会オリジナル
「空床アプリ」の開発決定

医療・介護ならではの高度なセキュリティ

通信暗号化

利用者とサーバー間の通信において、データを暗号化

権限管理

医療・介護従事者コミュニケーションエリアと患者や家族も参加できるエリアを明確に分割

アラート機能

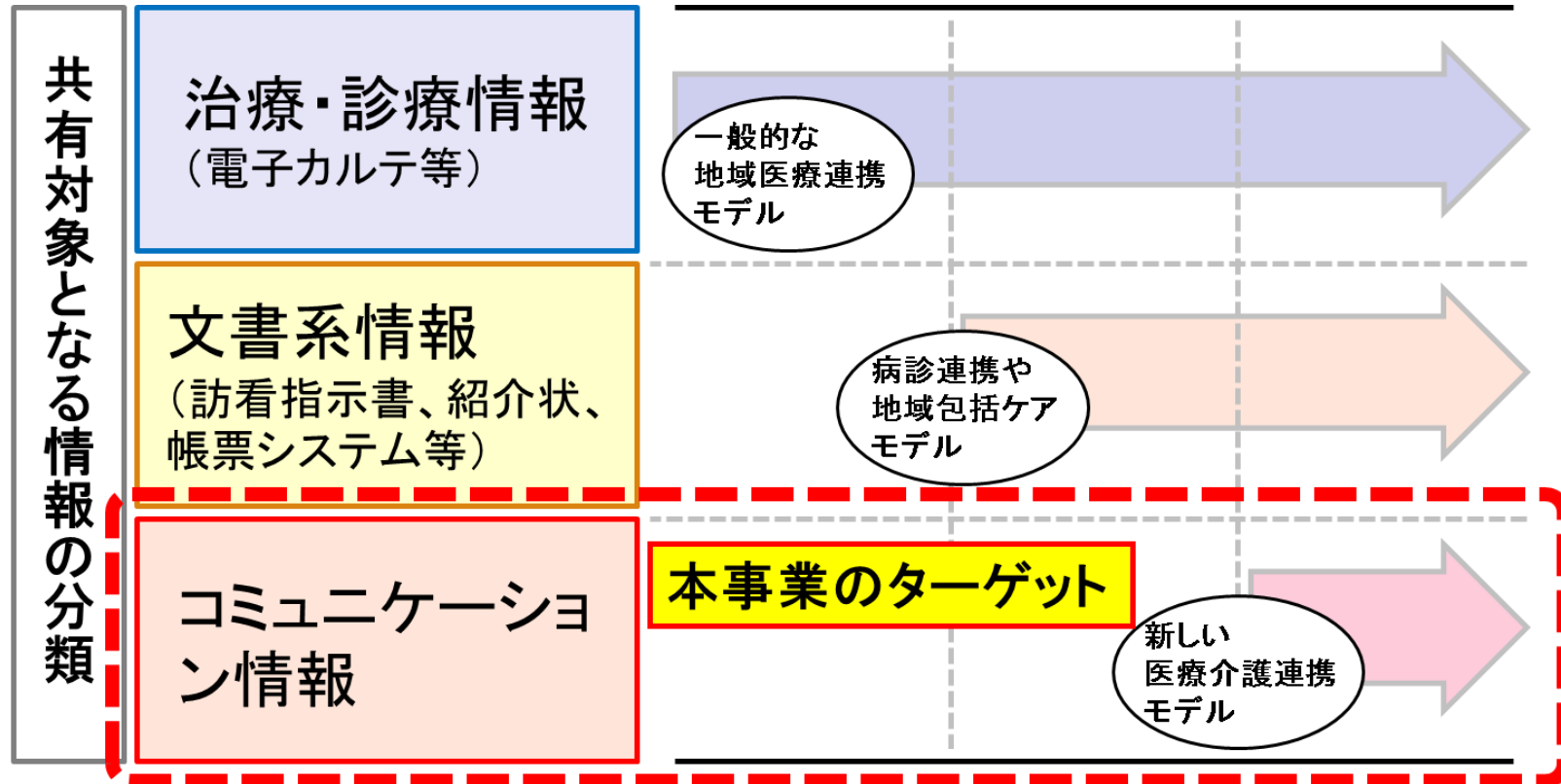
患者や家族も参加する画面に移動する際、「患者と共有している」ことをアラート表示

招待承認

参加者を招待する場合には、患者と医療者側の双方の承認を受けてから参加する仕組みを実装

なぜSNS？

ICT化が普及していない中では、高度な情報連携より、コミュニケーションから始めるのが効果的。



SNSならば、IT環境やITスキル、所属組織などが違ってても簡単につながれる。

医療情報連携基盤展開に向けてのポイント

在宅医療・介護連携基本情報共通化

用語、コード等表記方法や通信手段の取決め必要

実施運用面でのサポート等検討が必要

APPENDIX

GEヘルスケアとの共同事業「医知の蔵」について

増え続ける画像に『外部保管』と言う解決策。

Standard

画像データに未来を、縛られないこと。
画像データを決して、失わないこと。



医知の蔵
Medical Cloud Archive Service

SoftBank

導入事例

日本赤十字社 深谷赤十字病院他多数利活用



遠隔病理診断支援サービス

初期投資が不要で、遠隔病理診断システムを低価格で実現。

クラー口社
バーチャルスライドスキャナ「fino」

三啓社
遠隔病理コンサルシステム「Pratico」

ソフトバンクテレコム
統合VPN「SmartVPN」

技術：ニュース

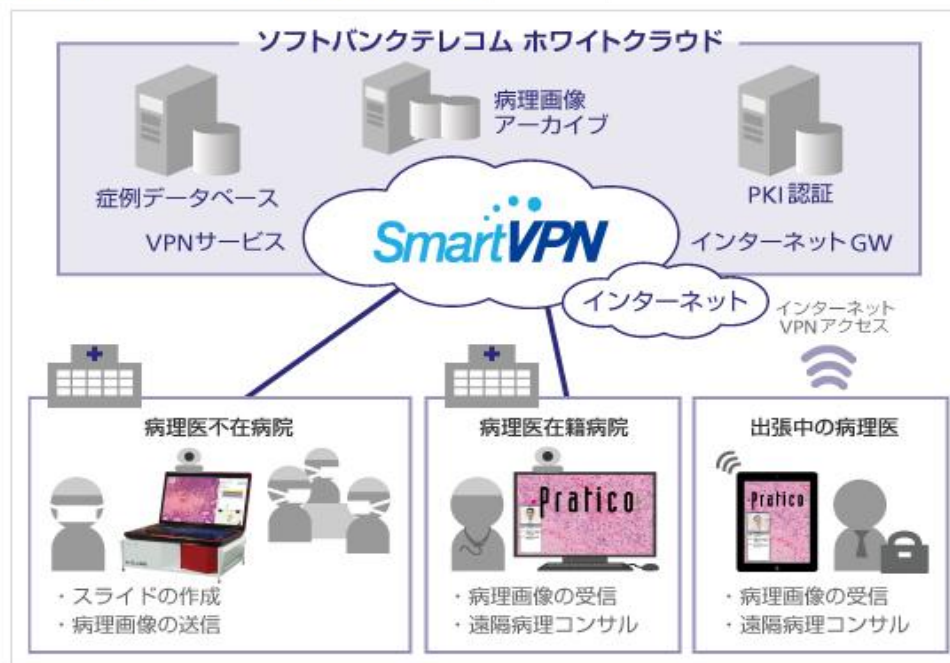
ソフトバンクテレコム、遠隔病理コンサル支援サービスを2013年1月に開始

2012/12/14 16:14

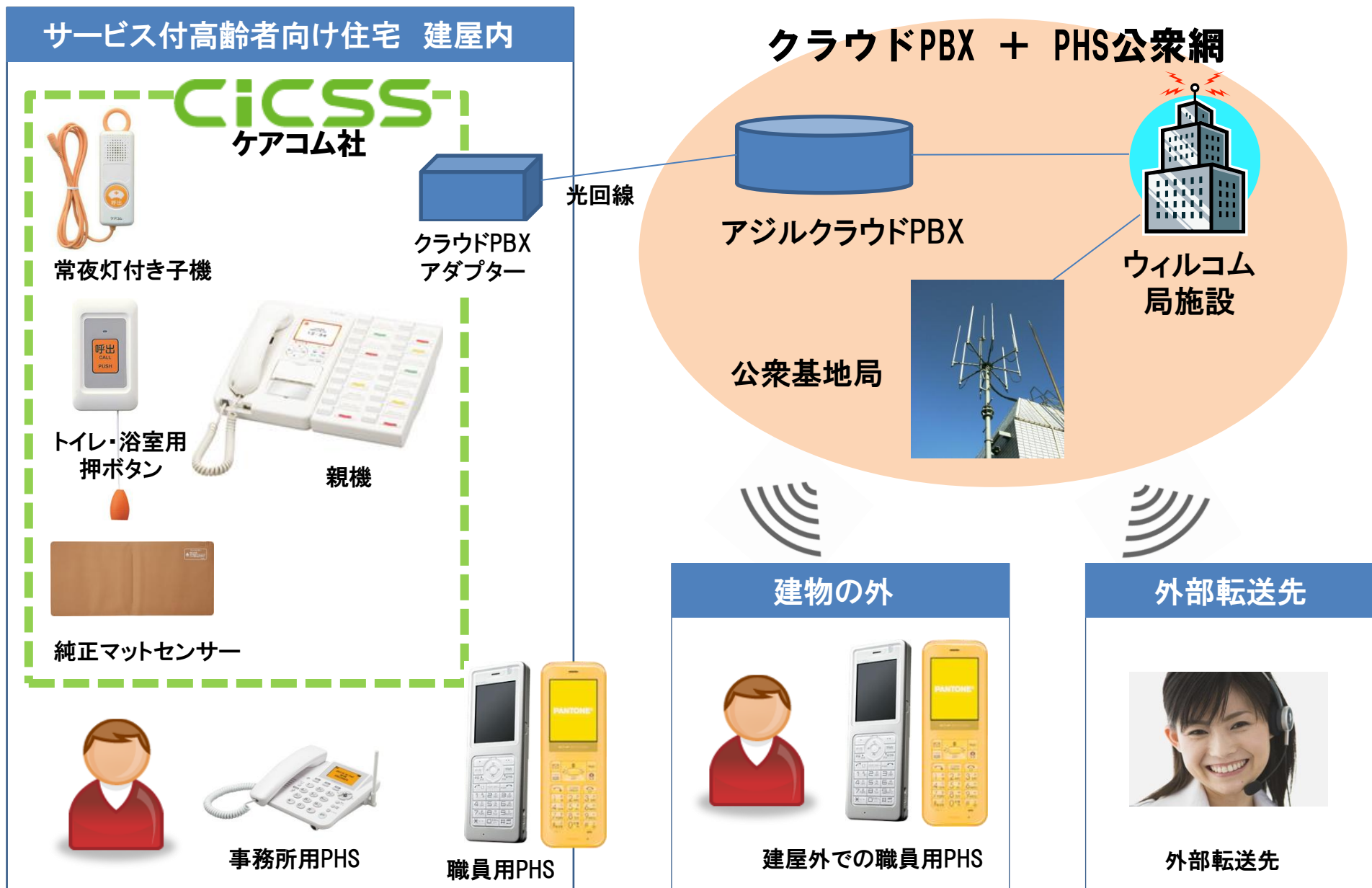
小谷 卓也=デジタルヘルスOnline

ソフトバンクテレコムは、クラー口、三啓と連携し、「遠隔病理コンサルテーション支援サービス」を2013年1月に開始する。全国的な病理医不足を受け、地域の医療格差の是正を支援するためのサービスである。

このサービスでは、病理医が常勤している中核病院と、病理医がいない中小病院などをネットワークで結ぶ。手術中に患者から摘出した病理標本の顕微鏡画像やバーチャルスライド画像を、ネットワークを通じて遠方にある病理医に転送し、リアルタイムに病理診断を行う「迅速病理診断」などが可能になる。



サービス付き高齢者住宅向け「ナースコール連携サービス」



EOF